

2004年第3四半期[7月～9月]不正アクセス届出状況

独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:藤原 武平太)は、2004年第3四半期[7月～9月]のコンピュータ不正アクセスの届出状況をまとめました。

2004年第3四半期の届出状況から、最近の傾向として

- 家庭ユーザのPCを含めたあらゆるコンピュータへの無差別な攻撃が多い
- 初歩的な対策を行っていなかったことが原因で被害に遭うケースが多い

と言えます。以下のサイトを参考にコンピュータセキュリティ設定の徹底及び日常の運用管理によるセキュリティ対策を継続するよう心がけてください。

- 情報セキュリティ対策実践情報 エンドユーザ・ホームユーザ向け

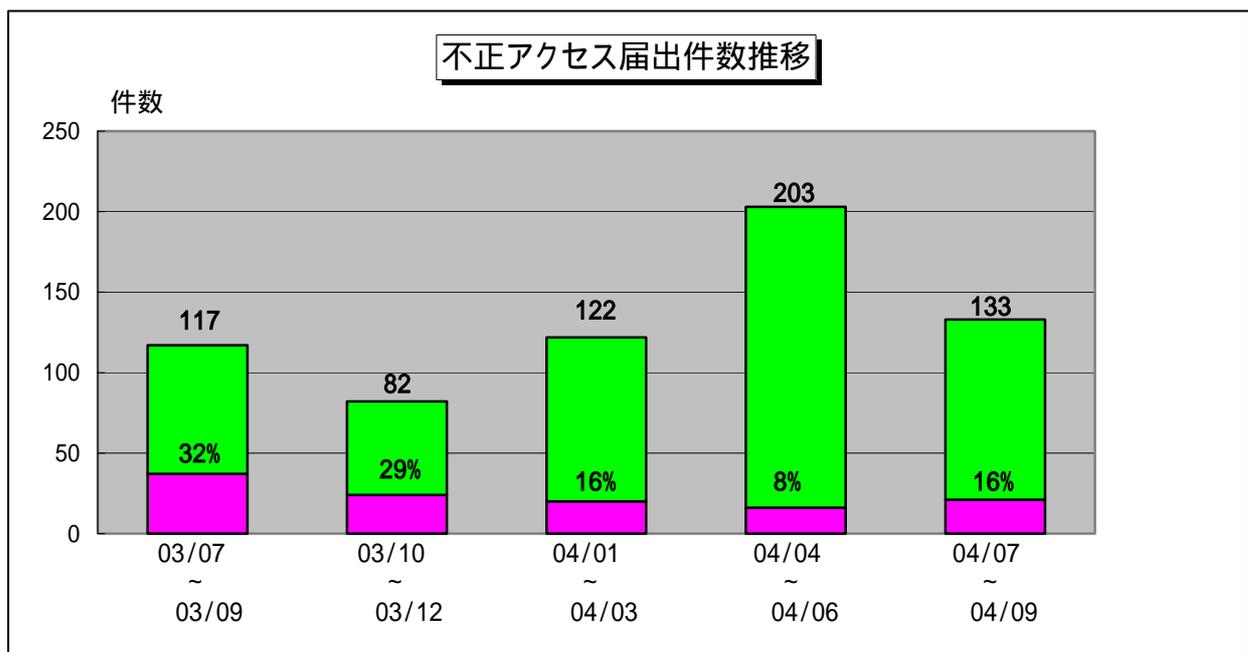
<http://www.ipa.go.jp/security/awareness/end-users/end-users.html>

- 情報セキュリティ対策実践情報 システム管理者向け

<http://www.ipa.go.jp/security/awareness/administrator/administrator.html>

1. 届出件数

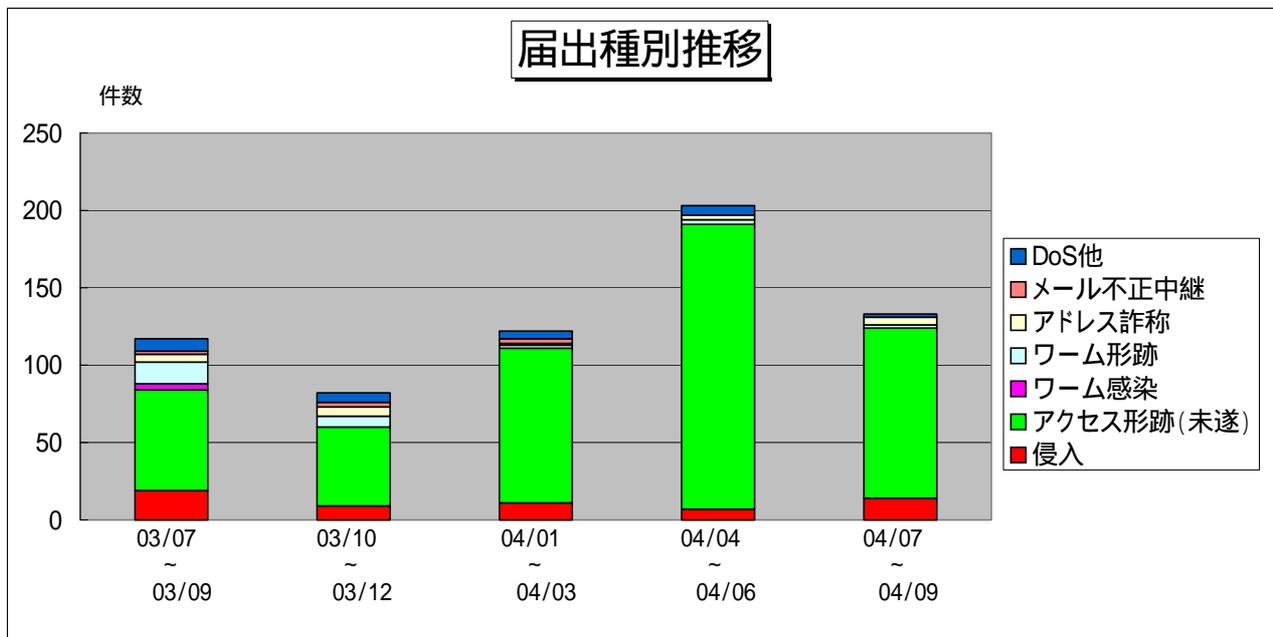
2004年第3四半期(7月～9月)の届出件数は合計133件となり、届出総数は減少しましたが、被害にあった件数の割合は増加しました。



グラフ中の%表示は届出総数のうち被害に遭った件数の割合を示している。

2.届出種別

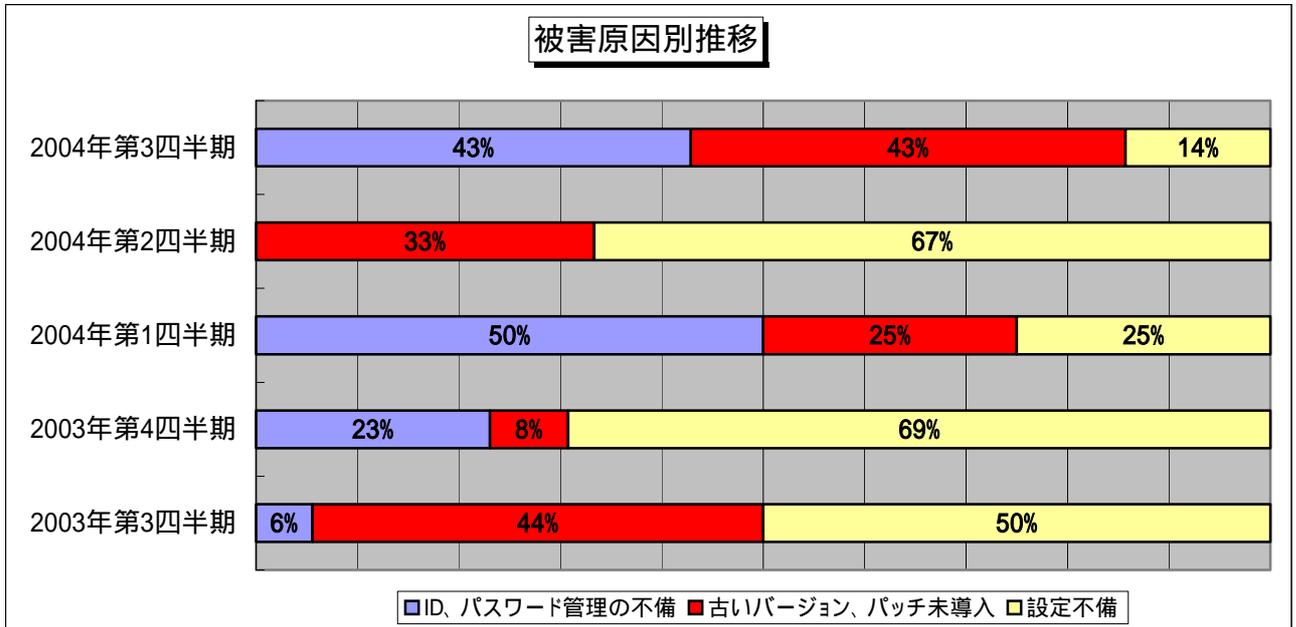
IPAに届けられた133件のうち、不正なアクセス形跡を発見した「アクセス形跡(未遂)」の届出が110件(前期184件)と全体の約82.7%を占めました。また、実際に被害に遭った届出は21件(前期16件)と全体の約15.8%を占めました。実際に被害に遭った届出とは「侵入」「ワーム感染」「メール不正中継」「アドレス詐称」「DoS他」の合計です。



	2003年 第3四半期	2003年 第4四半期	2004年 第1四半期	2004年 第2四半期	2004年 第3四半期
侵入	19(16.2%)	9(11.0%)	11(9.0%)	7(3.4%)	14(10.5%)
アクセス形跡(未遂)	65(55.6%)	51(62.2%)	100(82.0%)	184(90.6%)	110(82.7%)
ワーム感染	4(3.4%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
ワーム形跡	14(12.0%)	7(8.5%)	2(1.6%)	3(1.5%)	2(1.5%)
メール不正中継	2(1.7%)	3(3.7%)	3(2.5%)	0(0.0%)	0(0.0%)
アドレス詐称	5(4.3%)	6(7.3%)	1(0.8%)	3(1.5%)	5(3.8%)
DoS他	8(6.8%)	6(7.3%)	5(4.1%)	6(3.0%)	2(1.5%)
合計(件)	117	82	122	203	133

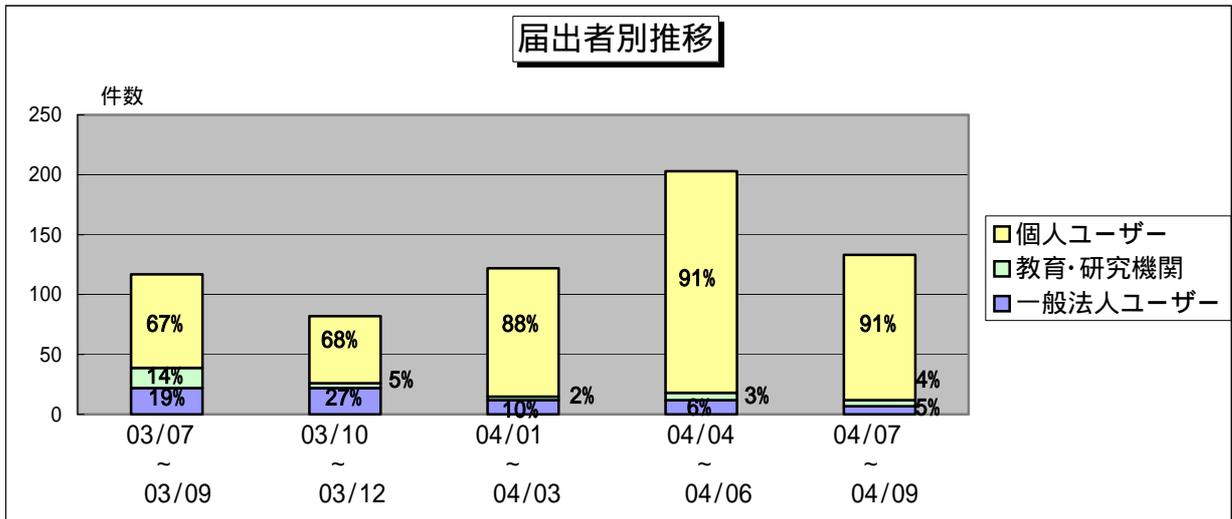
3.被害原因

実際に被害があった届出について被害原因が特定できたのは7件で、ID・パスワード管理不備と古いバージョン・パッチ未導入がそれぞれ3件（約42.9%）でした。



4.届出者の分類

届出者別の内訳は、**個人が約91%**を占め、依然高い割合を占めています。



お問い合わせ先
 独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター
 Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp